

る自主管理の推進、④都市計画マスタープランの策定、⑤公共下水道の老朽化対策の検討、⑥下水道料金の適確な徴収です。

白土―涼松土地区画整理事業は、1区画200㎡で約100戸を計画。事業主は積水ハウスで価格500万円前後とのこと。境川壁面の修復は、今年度も東郷中学校美術部を主体に実施されるとのことですが、当該地区はウォーキングコースとしてもよく、目を楽しませてくれる壁画を実施視察で確認し、関係者の努力を感じました。

民生委員会

5月21日、民生委員会は今年度の所管事業に関する研修と、特別養護老人ホーム・いこまい館トレーニングジムの視察を行ないました。

所管部局は、福祉部関係（福祉課・長寿介護課・子育て支援課）、健康部関係（健康課・保健医療課・東郷診療所）それぞれの職員構成・所管事務・予算及び主な事業を担当課長より説明を受けました。



施設サービス(株)の説明をきく

町組織機構改革に伴い、健康増進施策の強化を図るため、保険医療課（旧保険年金課）に特定健診係を新設、健康課（旧健康交流課）との連携強化を図っていくとのこと。町民にわかりやすい名称にするため、子育て支援課（旧児童課）、長寿介護課（旧健康交流課）（旧健康交流課いきがいセンター）と名称変更しました。現地視察は、まず特別養護老人ホーム「イースト・ヴィレッジ」へ行き、加藤恒久施設長の説明で館内を見学しました。「のんびりゆったり おじいちゃんおばあちゃんが主人公の物語のはじまりです」の言葉の通り、木のぬくもりを重視した造りなど、随所に工

夫とこだわりのあり、入所者の皆さんの笑顔が物語っていました。

つぎに4月10日にオープンした健康増進施設「いこまい館トレーニングジム」の現状について施設サービス(株)加藤社長より説明を受けました。トレーニングジムの1日平均利用者は、4月178人、5月187人。1日で200人以上の日もあり（目標300人/日）、今後は、自主運営の教室開催や利用時間の延長見直しで、利用者がもう一度行ってみたいと思う施設をめざしたいとの説明でした。現地で社員の目の輝きと意欲を肌で感じ、今後の運営に期待しています。



「イースト・ヴィレッジ」にて

議会活動報告

水防訓練



います。今年は、伊勢湾台風から50年目の年です。昨年も東海豪雨なみのゲリラ豪雨が、県内各地で大きな被害をもたらしています。さいわい、ここ数年、東郷町では風水害による大きな被害はありませんが、都市型水害が予想される地域です。このような水害を想定した地域住民・地域事業者・警察・自衛隊等も参加した水防訓練ができればと思います。

東郷町議会は、今年も東郷町水防訓練に参加しました。

昨年より、尾三消防職員の指導で、消防団・地域防災委員・地区役員・町職員と一緒に体験しました。

積どのう工法など、基礎的な訓練に参加することで、緊急災害時の身の回りの災害防止や、地域防災活動に対する理解が深まり、非常に重要な訓練となりました。

